

DI 指数、3 年連続プラスに

第64回冷凍空調機器需要予測調査報告

当会は、平成30年4月から5月末までの期間に、第64回冷凍空調機器需要予測調査を実施した。同調査は全普通会员3,300社を対象に調査票を送付、書面記入方式で実施した。その結果、5月末日までに回答のあった330社（回答率10%）について集計したものの中間報告である。（回答企業の地域別・業態別は、表1）

同調査は、年1回実施しており、昨年は4月に実施している。

I. 最近の商況

DI指数プラス17.3ポイントと3年連続プラスに

「最近の商況」の質問では、「良い」「やや良い」と前年度を上回った企業は39.1%（同38.7%）、「やや悪い」「悪い」「非常に悪い」を合わせて21.8%（前回24.4%）となり、業況を占うDI（景況）指数はプラス17.3ポイント（同プラス14.3ポイント）となった。前回調査と比較して、3ポイントもプラス、DI指数が二桁プラスとなり、3年連続のプラスとなった（表2）。

日本経済は、経済財政政策の推進により、個人消費は持ち直し、設備投資や生産は緩やかに増加、企業収益や企業の業況判断は改善、雇用情勢も着実に改善しているなど、景気は緩やかに回復している。

そのような状況の中、冷凍空調業界は、一部の企業業績が堅調であることと、高効率機器への入れ替え、フロン排出抑制法対応、補助金制度の充実などの相乗効果により、堅調に推移しているといえる。

数値から判断すると、「良い」「やや良い」という企業は増えていると同時に「悪い」という企業は減っており、一時期、二極化してきているようであったが、業界全体が着実に回復しているようだ。

特にここ数年間で、DI指数がV字回復となっており、ここ5年間は高い水準で維持している。

地区別に見ると、「中国」（プラス45.2ポイント）、「西日本」（プラス30ポイント）、「四国」（プラス24ポイント）の各地区が20ポイント以上となり、西高東低のようである。この傾向は昨年へ続き2年連続である。その中でも、「中国」と「西日本」は、「悪い」「非常に悪い」と回答した企業はゼロであり、かなり良い状態であるといえる。その反面、「近畿」は、60ポイントが前年度並みの「普通」と回答しているものの、マイナス3.3ポイントとなり、他の地区は二桁プラスに対し、唯一のマイナスとなっている。

II. 冷凍空調機器の売れ行き状況

PACは堅調に推移

パッケージエアコンの売れ行き状況では、「良い」は25.2%（前回調査23.9%）となり、昨年並みの「普通」は59.1%（同54.8%）と増え、一方、「悪い」は10.0%（同12.5%）と昨年より減少しており、この傾向は昨年へ引き続き2年連続となった。全体的に底上げとなった。また、2017年度のパッケージエアコンの出荷台数は、前年度比104.2%の約82.7万台と3年ぶりに80万台を超え、日本冷凍空調工業会発表の発表に出荷台数とほぼ同じ傾向を示し、依然、高い水準を維持している（表3）。

一方、コールドチェーン機器の売れ行き状況では、冷

表1 地域別・業態別回答数

地域	件数	空調設備	冷凍・冷蔵設備	その他	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	226 68.5	59 17.9	40 12.1	5 1.5
北海道地区	20 100.0	8 40.0	9 45.0	3 15.0	—
東北地区	39 100.0	28 71.8	8 20.5	3 7.7	—
関東甲信越静岡	113 100.0	75 66.4	21 18.6	16 14.2	1 0.9
中部地区	36 100.0	32 88.9	2 5.6	2 5.6	—
近畿地区	30 100.0	19 63.3	6 20.0	3 10.0	2 6.7
中国地区	31 100.0	24 77.4	2 6.5	5 16.1	—
四国地区	25 100.0	15 60.0	3 12.0	6 24.0	1 4.0
西日本地区	30 100.0	20 66.7	7 23.3	2 6.7	1 3.3

表2 最近の商況

地域	件数	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	非常に悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	30 9.1	99 30.0	125 37.9	51 15.5	15 4.5	6 1.8	4 1.2
北海道地区	20 100.0	2 10.0	6 30.0	6 30.0	5 25.0	1 5.0	—	—
東北地区	39 100.0	4 10.3	9 23.1	15 38.5	7 17.9	3 7.7	—	1 2.6
関東甲信越静岡	113 100.0	14 12.4	33 29.2	36 31.9	19 16.8	6 5.3	4 3.5	1 0.9
中部地区	36 100.0	1 2.8	12 33.3	15 41.7	5 13.9	1 2.8	2 5.6	—
近畿地区	30 100.0	2 6.7	3 10.0	18 60.0	4 13.3	2 6.7	—	1 3.3
中国地区	31 100.0	2 6.5	15 48.4	11 35.5	3 9.7	—	—	—
四国地区	25 100.0	—	11 44.0	9 36.0	4 16.0	1 4.0	—	—
西日本地区	30 100.0	3 10.0	10 33.3	12 40.0	4 13.3	—	—	1 3.3

表3 前年の売行き状況（パッケージエアコン）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	83 25.2	195 59.1	33 10.0	19 5.8
北海道地区	20 100.0	1 5.0	15 75.0	3 15.0	1 5.0
東北地区	39 100.0	9 23.1	23 59.0	4 10.3	3 7.7
関東甲信越静	113 100.0	26 23.0	70 61.9	12 10.6	5 4.4
中部地区	36 100.0	7 19.4	22 61.1	6 16.7	1 2.8
近畿地区	30 100.0	8 26.7	17 56.7	3 10.0	2 6.7
中国地区	31 100.0	11 35.5	17 54.8	1 3.2	2 6.5
四国地区	25 100.0	10 40.0	11 44.0	2 8.0	2 8.0
西日本地区	30 100.0	8 26.7	18 60.0	1 3.3	3 10.0

表4 前年の売行き状況（冷凍・冷蔵ショーケース）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	10 3.0	101 30.6	130 39.4	89 27.0
北海道地区	20 100.0	—	8 40.0	8 40.0	4 20.0
東北地区	39 100.0	1 2.6	14 35.9	16 41.0	8 20.5
関東甲信越静	113 100.0	3 2.7	34 30.1	39 34.5	37 32.7
中部地区	36 100.0	—	9 25.0	19 52.8	8 22.2
近畿地区	30 100.0	1 3.3	9 30.0	12 40.0	8 26.7
中国地区	31 100.0	—	10 32.3	10 32.3	11 35.5
四国地区	25 100.0	2 8.0	8 32.0	9 36.0	6 24.0
西日本地区	30 100.0	3 10.0	7 23.3	13 43.3	7 23.3

表5 前年の売行き状況（業務用冷蔵庫）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	23 7.0	130 39.4	92 27.9	85 25.8
北海道地区	20 100.0	2 10.0	12 60.0	6 30.0	—
東北地区	39 100.0	3 7.7	15 38.5	13 33.3	8 20.5
関東甲信越静	113 100.0	8 7.1	47 41.6	22 19.5	36 31.9
中部地区	36 100.0	—	14 38.9	14 38.9	8 22.2
近畿地区	30 100.0	3 10.0	12 40.0	7 23.3	8 26.7
中国地区	31 100.0	1 3.2	10 32.3	9 29.0	11 35.5
四国地区	25 100.0	—	10 40.0	9 36.0	6 24.0
西日本地区	30 100.0	6 20.0	8 26.7	9 30.0	7 23.3

表6 今年の売行き見通し（パッケージエアコン）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	70 21.2	192 58.2	40 12.1	28 8.5
北海道地区	20 100.0	1 5.0	14 70.0	3 15.0	2 10.0
東北地区	39 100.0	7 17.9	21 53.8	8 20.5	3 7.7
関東甲信越静	113 100.0	27 23.9	62 54.9	14 12.4	10 8.8
中部地区	36 100.0	4 11.1	25 69.4	6 16.7	1 2.8
近畿地区	30 100.0	9 30.0	15 50.0	2 6.7	4 13.3
中国地区	31 100.0	9 29.0	19 61.3	—	3 9.7
四国地区	25 100.0	7 28.0	13 52.0	3 12.0	2 8.0
西日本地区	30 100.0	4 13.3	20 66.7	3 10.0	3 10.0

凍・冷蔵ショーケースは、「良い」と回答した企業は3.0%（同7.5%）で、「普通」が30.6%（同26.0%）、「悪い」が39.4%（同38.7%）となった。また、2017年度の冷凍冷蔵ショーケースの出荷台数は、前年度比96.7%の30.2万台と減少したものの、30万台を維持、一進一退の状況である。

冷凍冷蔵庫は、「良い」は7.0%（同7.5%）、「普通」は39.4%（同34.8%）、「悪い」が27.9%（同29.9%）と鈍さが見られる。また、業務用冷蔵庫の出荷台数は、前年度比104.2%の23.7万台となり、こちらも20万台の大台を維持するなど、堅調に推移している（表4、表5）。

見通しは前年並

これに対し、今年度の見通しでは、パッケージエアコンにおいて「良い」と回答した企業は21.2%と、前年度実績の「良い」の25.2%と比較して、今年度は若干厳しい見方をしているが、「普通」(58.2%)と合わせると8割近くが前年度並みに推移すると見通している。また、冷凍冷蔵ショーケースでは、「良い」は0.9%、「普通」は32.7%、「悪い」は38.8%と前年度実績と比較して、

同じような状態が今年度も続くとの見方をしている。冷凍冷蔵庫も冷凍冷蔵ショーケースとほぼ同じ傾向を示している（表6～表8）。

「点検」は実施しているが、価格は公表せず

その他、「フロン排出抑制法」が施行されて、3年が経過し、施行状況、特に「点検」について調査した。

その結果、フロン排出抑制法による「定期点検」の実施状況では、81.5%が「実施している」と回答し、概ね実施している実態が判明した（表9）。

また、「定期点検を実施した経緯」については、「施主から直接依頼された」が6割近くにのぼり、保守・サービスは施主からの直接発注が多いことが判る。さらに、法施行を受けて、「自ら営業」して「定期点検」の仕事を確保したところも43.0%もあり、法の施行が受注につながったとも言える。また、「第三者からの依頼」も30%近くあり、今回は「第三者」がどのような立場の者かは聞いていないため判断できないが、「サブコン」や「ビルメン」、「機器メーカー」等が考えられる（表10、11）。

その他、点検の「価格表」について聞いており、「価格表がある」のは1/3に過ぎず、ほとんどは、価格表を持たずに、現場毎に積算、判断しているようだ。また、

「価格表」をホームページ等で公表しているかについては、ほとんど公表していないことが判った（表12）。

表7 今年の売行き見通し（冷凍・冷蔵ショーケース）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	3 0.9	108 32.7	128 38.8	91 27.6
北海道地区	20 100.0	—	5 25.0	10 50.0	5 25.0
東北地区	39 100.0	1 2.6	12 30.8	18 46.2	8 20.5
関東甲信越静	113 100.0	1 0.9	40 35.4	35 31.0	37 32.7
中部地区	36 100.0	—	9 25.0	19 52.8	8 22.2
近畿地区	30 100.0	—	11 36.7	11 36.7	8 26.7
中国地区	31 100.0	—	10 32.3	10 32.3	11 35.5
四国地区	25 100.0	1 4.0	9 36.0	9 36.0	6 24.0
西日本地区	30 100.0	—	10 33.3	12 40.0	8 26.7

表8 今年の売行き見通し（業務用冷蔵庫）

地域	件数	良い	普通	悪い	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	21 6.4	123 37.3	100 30.3	86 26.1
北海道地区	20 100.0	2 10.0	10 50.0	7 35.0	1 5.0
東北地区	39 100.0	3 7.7	12 30.8	16 41.0	8 20.5
関東甲信越静	113 100.0	7 6.2	46 40.7	25 22.1	35 31.0
中部地区	36 100.0	—	14 38.9	14 38.9	8 22.2
近畿地区	30 100.0	2 6.7	13 43.3	8 26.7	7 23.3
中国地区	31 100.0	2 6.5	9 29.0	8 25.8	12 38.7
四国地区	25 100.0	—	9 36.0	10 40.0	6 24.0
西日本地区	30 100.0	5 16.7	8 26.7	9 30.0	8 26.7

表9 フロン排出抑制法による「定期点検」の実施状況

地域	件数	実施している	実施していない	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	269 81.5	56 17.0	5 1.5
北海道地区	20 100.0	19 95.0	—	1 5.0
東北地区	39 100.0	31 79.5	7 17.9	1 2.6
関東甲信越静	113 100.0	91 80.5	22 19.5	—
中部地区	36 100.0	30 83.3	6 16.7	—
近畿地区	30 100.0	26 86.7	3 10.0	1 3.3
中国地区	31 100.0	25 80.6	6 19.4	—
四国地区	25 100.0	21 84.0	4 16.0	—
西日本地区	30 100.0	21 70.0	7 23.3	2 6.7

表10 定期点検を実施した経緯

地域	件数	施主から直接依頼	自ら営業した	第三者から依頼	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	197 59.7	142 43.0	96 29.1	58 17.6
北海道地区	20 100.0	17 85.0	10 50.0	4 20.0	—
東北地区	39 100.0	22 56.4	14 35.9	7 17.9	8 20.5
関東甲信越静	113 100.0	64 56.6	50 44.2	35 31.0	22 19.5
中部地区	36 100.0	21 58.3	16 44.4	13 36.1	6 16.7
近畿地区	30 100.0	20 66.7	16 53.3	11 36.7	4 13.3
中国地区	31 100.0	21 67.7	8 25.8	8 25.8	6 19.4
四国地区	25 100.0	15 60.0	8 32.0	11 44.0	4 16.0
西日本地区	30 100.0	13 43.3	17 56.7	6 20.0	7 23.3

表11 「簡易点検」や「定期点検」の価格表の有無

地域	件数	価格表がある	価格表はない	無回答
合計 (件) (%)	330 100.0	115 34.8	196 59.4	19 5.8
北海道地区	20 100.0	12 60.0	8 40.0	—
東北地区	39 100.0	9 23.1	27 69.2	3 7.7
関東甲信越静	113 100.0	41 36.3	66 58.4	6 5.3
中部地区	36 100.0	14 38.9	21 58.3	1 2.8
近畿地区	30 100.0	11 36.7	18 60.0	1 3.3
中国地区	31 100.0	8 25.8	19 61.3	4 12.9
四国地区	25 100.0	8 32.0	16 64.0	1 4.0
西日本地区	30 100.0	9 30.0	18 60.0	3 10.0

表12 「簡易点検」や「定期点検」の価格表の公表状況

表11で「簡易点検」や「定期点検」の価格表の有無…価格表がある

地域	件数	ホームページ等で公表している	公表はしていない	無回答
合計 (件) (%)	115 100.0	4 3.5	97 84.3	14 12.2
北海道地区	12 100.0	—	10 83.3	2 16.7
東北地区	9 100.0	—	8 88.9	1 11.1
関東甲信越静	41 100.0	1 2.4	35 85.4	5 12.2
中部地区	14 100.0	—	13 92.9	1 7.1
近畿地区	11 100.0	—	10 90.9	1 9.1
中国地区	8 100.0	—	7 87.5	1 12.5
四国地区	8 100.0	—	6 75.0	2 25.0
西日本地区	9 100.0	2 22.2	6 66.7	1 11.1